

報道関係者各位

2020年7月8日
株式会社アイネット

アイネット、需要が急拡大するクラウドサービス・データセンター事業強化へ

独立系のデータセンター（以下 DC）プロバイダーであり、自社 DC をベースにクラウドサービス・DC 事業を展開する株式会社アイネット（東証一部上場、本社：神奈川県横浜市、代表取締役：坂井 満、以下「アイネット」）は、テレワーク機会の増加で需要が急拡大するクラウドサービスの対応力を強化するため組織改編を実施し、7月より本格稼働しますのでお知らせいたします。

1. アイネットにおけるクラウドサービス・DC 事業

(1) 過去 10 年の成長を支える

国内最高クラスの自社 DC をベースに 2010 年より始めたクラウドサービス・DC 事業は、提供メニューを増やしながら以下の通り順調に成長、2020 年 3 月期での売上高はおよそ 50 億円に達し、利益率の高いストックビジネスとして過去 10 年のアイネットの成長を支えてきました。アイネットの 2010 年 3 月期の連結売上高 211 億円に対して 10 年後の 2020 年 3 月期は 311 億円。およそ 100 億円の増収を実現していますが、うち半分をクラウドサービス・DC 事業が占めています。



(2) 中期経営計画・事業戦略計画の中核

新型コロナウイルス感染拡大をきっかけにテレワークが広がる中、多様なクラウドサービスを提供するアイネットには多くの問い合わせが寄せられたことから、現在は専用窓口を設置しています。今後もクラウドサービス及び提供の基盤である DC に対する需要は一層高まるものと考えています。前期策定した中期経営計画では事業戦略計画の中核に位置付けており、アイネットの成長ドライバーとして注力しています。

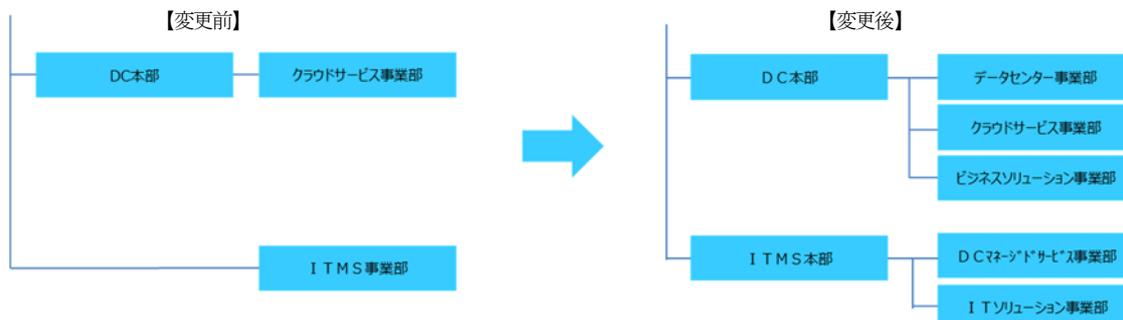
2. 新組織について

(1) 組織改編内容

今後需要が増すクラウドサービス・DC 事業強化のため以下の組織改編を実施しました。

DC本部 : 3事業部制として、DXニーズによるクラウド移行、5G到来時代に向けた当社のコアビジネスとしてさらに推進。

ITMS本部 : 本部制として、ファシリティ管理から基盤構築、BPO、運用保守までを垂直統合した当社独自のDC運用モデルを推進。



(2)各本部・事業部の主な機能

DC 本部	
データセンター事業部	IT マネージドサービスの拡販による DC 稼働率の向上
クラウドサービス事業部	クラウドサービスの販売拡大
ビジネスソリューション事業部	データセンター事業を軸とした、新規ビジネスの創出
ITMS 本部	
DC マネージドサービス事業部	DC の安定運用、および DC ファシリティ維持管理、新設備・仕組み導入
IT ソリューション事業部	新技術の導入による最先端クラウドサービスの構築・提供

3. 今後のクラウドサービス・DC 事業戦略の展開について

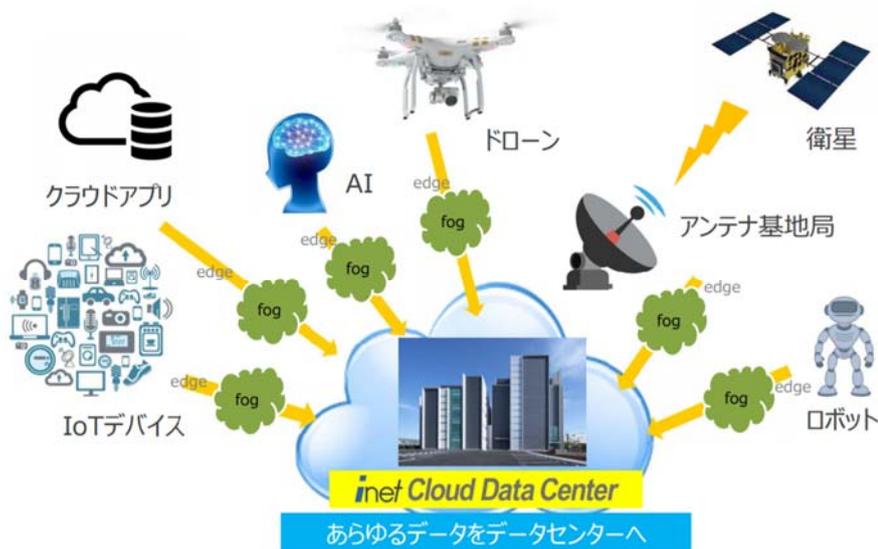
(1)サービス・販売パートナー戦略

上記の組織を有機的に連携させることで、以下の戦略を一層推進して参ります。

販売パートナー	当社クラウドサービスの販路拡大のための有力販売代理店との提携推進
OEM パートナー	当社クラウドサービスの相手先ブランドでの販売先提携推進
IT 基盤パートナー	当社クラウド基盤上にパートナーアプリケーションを載せクラウドサービスとして提供
サービスパートナー	強みのあるパートナークラウドサービスを当社基盤に載せ当社自らも販売

(2)プラットフォーム戦略

自社 DC に、デジタルトランスフォーメーション (DX) ニーズで急速に高まる、クラウドアプリ、AI、ドローン、衛星、ロボット、IoT デバイスなどから生まれるあらゆるデータを集めて蓄積し、更に分析・解析することで有用なデータとして活用するビジネスを推進します。



以上

- アイネット URL <https://www.inet.co.jp/>
- お問い合わせ先 株式会社アイネット 経営戦略・IR 室 小木曾 (おぎそ)、石田
TEL : 045-682-0806 E-mail : infomc@inet.co.jp